

# ハザードたより

〒496-0945 愛西市三和町中割173-1 TEL 0567-28-0001

安泉寺ハザード会

文責 野村宗明

## 大地が揺れた日

～1995.1.17 阪神淡路大震災～



阪神淡路大震災から30年

東日本大震災から 15年

WE WON'T FORGET  
忘れない  
2011.3.11

## 災害は忘れる前にやってくる!!

能登半島地震から1年  
豪雨から半年



私たちは どう対処  
すべきか-!?



がんばろう能登!



- ① 防災訓練 みんなで参加。
- ② 自宅から避難所まで 実際に歩いてみよう!

私には能登とつながっています!

南海トラフ地震  
準備情報も  
発令されました!!

移動がむずかしい方も  
ぜひ避難所まで  
行ってみましょう!



## 中野了さん 能登ボランティア報告 2

≪ 活 動 報 告 ≫ 10月31日(木)

8時に教務所を出発し珠洲市へ。のと里山海道は、前回7月末に通った時よりも走りやすくなっているように感じました。相変わらず土砂崩れによる迂回だらけで、完全復旧には長い年月を要すると思いますが、着実な歩みを感じました。



1軒目は、5月のボランティア活動先であった善慶寺です。

住職さんによると、「8月に庫裏の水道配管工事ができて、やっと水が出るようになった。」との事でした。良かったという思いとともに、敷地内の水道配管工事について、国や県や市と民間業者等が協力して、柔軟で積極的な対応ができて

いれば、もっと早期に復旧できていたのではないかと、という思いも湧きました。5名で2時間ほどかけ、本堂にある仏具等をコンテナに運び入れました。

西光寺へ向かう途中、同じく珠洲市の長覚寺に立ち寄りしました。こちらも本堂と庫裏を公費解体予定との事で、到着すると解体業者が作業しており、解体前に細かな物を運び出しているところでした。住職さんによると、「建物はとりあえず建ってはいるが、直せる状態ではない。後の事はまだわからないが、公費解体する事にした。」とのお話でした。

2軒目の西光寺では、家電等を軽トラックに積み、災害ゴミ集積所へ運びました。住職さんによると、「震災後に、片道3時間かかるところに家を借りて避難していた。作業しに戻るたびに本堂が傾いていっているのが目に見えてわかった。とても直せるものではないので公費解体する事にした。これまでのような規模の本堂を建てる事は考えておらず、こ



じんまりとした会館タイプになると思う。人口減少・過疎・門徒さんも減っていく。この地震は大きな転機、良い機会とも思う。」とのお話でした。

一緒に作業をした能登教区のボランティアグループの方にお話をうかがいました。「珠洲市内の公費解体が進み、それによって木材などの解体ゴミの集積場所がとんでもない状態になっている。常に埃が舞い、この世のものとは思えない光景だった。また、各地から下請け孫請けなど様々な解体業者が入ってきており、トラックへの明らかな過積載や乱暴な運転等がエスカレートすると感じる。解体業者を装った空き巣被害を防ぐため、警察によるパトロールが強化されている状況。」とのお話でした。

以下次号